



平成 26 年 12 月 15 日

各 位

東京都千代田区神田錦町三丁目 17 番地 11

株式会社ジェクシー

(URL <http://www.gexeed.co.jp>)

代表者名 代表取締役会長兼社長 大島 剛生

(コード番号：3719)

問合せ先 経理 IR 部マネージャー 町田 英彦

電話番号：03-5259-7010

平成 26 年 12 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 26 年 8 月 14 日に公表いたしました平成 26 年 12 月期通期業績予想を最近の業績の動向を踏まえ、下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 12 月期通期業績予想の修正 (平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	863	△38	△42	△64	△5 円 12 銭
今回発表予想 (B)	684	△84	△89	△111	△8 円 75 銭
増減額 (B-A)	△178	△47	△45	△45	—
増減率 (%)	△20.7	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 12 月期通期)	1,113	△104	△114	△173	△16 円 83 銭

2. 通期業績予想の修正理由

平成 26 年 11 月 13 日に開示を致しました平成 26 年 12 月期第 3 四半期決算短信に記載をいたしました通り、業績回復を行うために経営体制の変更を行い、抜本的な事業戦略の見直し、オペレーションモデルの変革、事業採算性の評価を行いました。第 2 四半期を事業計画の見直し期間とし、当第 3 四半期からの業績を回復させるために、製品ラインナップを拡充し、様々な案件に対応するために、製品ベンダー、同業他社とパートナー提携の拡大を図っております。従来より行ってきたコスト削減の効果もあり第 3 四半期会計期間において営業損失の縮小を図ることができました。残念ながら、大型案件の受注が減少し、売上高の見込みとしては、平成 26 年 8 月 14 日にお知らせした予想を下回る見込みであり、営業利益、経常利益、当期純利益も業績予想を下回る見込みです。

平成 26 年 12 月期第 4 四半期においては、営業利益、経常利益、当期純利益ともに黒字化できる見込みでありましたが、一部のプロジェクトの遅延により第 3 四半期会計期間とほぼ同等程度の営業損失の縮小にとどまる見込みです。

第 3 四半期累計期間の業績に加え、現時点での見込みを勘案し上記の通り平成 26 年 12 月期(通期)の業績予想を修正いたします。

売上高については、売上見込みに基づき 6 億 84 百万円 (前回予想比 1 億 78 百万円減)、営業損失については 84 百万円 (前回予想比 47 百万円減)、経常損失は 89 百万円 (前回予想比 45 百万円減)、当期純損失は 1 億 11 百万円 (前回予想比 45 百万円減) を見込んでおります。

第 2 四半期より取り組んだ経営改革は順調に進捗しており、平成 27 年 12 月期は黒字化できる見通しであります。

なお、上記平成 26 年 12 月期通期業績予想に関しましては、本資料発表において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上